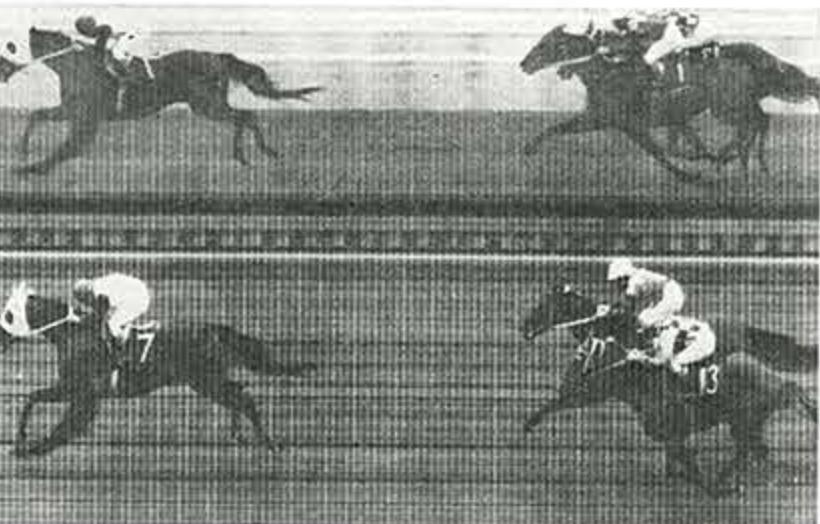


第 33 回

皇月賞



# け々違ひの強さ 三冠へ第一歩

れ、増沢末夫騎手のハイセイロー（東京・鈴木勝きゆう舎）が、三ヨーナーから一気に先頭に立ち、直線も追いすがるカネイコマ以下を問題にせず、2馬身½差をつけ、二〇〇〇年（馬場重）2分6秒7のタイムで優勝、内閣総理大臣賞と賞金一千九百三十三万六千九百円（付加賞を含む）を獲得した。関東馬の優勝は四十四年のワイルドモア以来四年ぶり。鈴木勝太郎調教師は二度目、増沢騎手はこのレース初制覇である。

の右ステッキを一層強いものにしました。

その時、中団から外めを回って進出してきたハウシュュウエイトの野平祐二騎手が首をかしげた。

「きょうはどうしたんだろう。ちつとも気分良く走ってくれない」泥にまみれた赤いマスクのハウシュュウエイトを、懸命に標的に向ける。『ダンディー』の看板はかなぐりすてて

それまでがあまりにも順調にきていたハイセイコーの馬上、増沢騎手の背中を一瞬冷たいものが流れた。

スタートから1分40秒足らず。馬場をひと回りして、先頭で四コーナーのカーブにかかったときだ。ゴールまであと四百メートル。

なにを思ったのか、愛馬は首を上げて大きく外にふくらんだ。

「ひょっとしたら……」悪い予感が増沢の脳裏をよぎる。それでも、右腕が強引に手綱を絞り、口向きの修正にかかった。

直後にカネイコマがいる。蛇沢の勝負服が汚れていないように、じつにスマーズにレースの流れに乗ってきたのだ。脚いろには、まだまだ余裕がある。

「ようし、ハイセイコーがふくれたぞ。やっぱり道悪はダメなのか？ オレの馬もうまくはないが手こたえは十分だ。トヨトミンコウ

怪物君は、四コーナーまで快調だった。  
レース前の返し馬で、早くも増沢は「勝利」を確信していた。  
「これまでとはまるで違う。ハミの受けもいいし、中央入りして最高の状態ではないか」  
出ムチをくれたスタートも満点だった。  
「馬が行く気になつたら、かまわないので行かせる。あとはお前にまかせたぞ」鈴木勝調教師の言葉通り、ひつかかり気味にグイグイと行く愛馬を、増沢は決して抑えようとはしなかった。  
ユウシオを交して、トップに立つた三コ一ナーチャンス。  
「もう大丈夫。あとは、お前にまかせる」今度は増沢がハイセイコーにまかせたばかりの四コーナーだった。

雨でグシャグシャになつた最内を  
ついて、シャダイオ一が横に並んだ  
とき、「ようしー 口向きが直つた  
ぞ」

再びエンジンがかかつた。いつの  
まにか、大きく馬場の外めに出てい  
ることに気がついた。

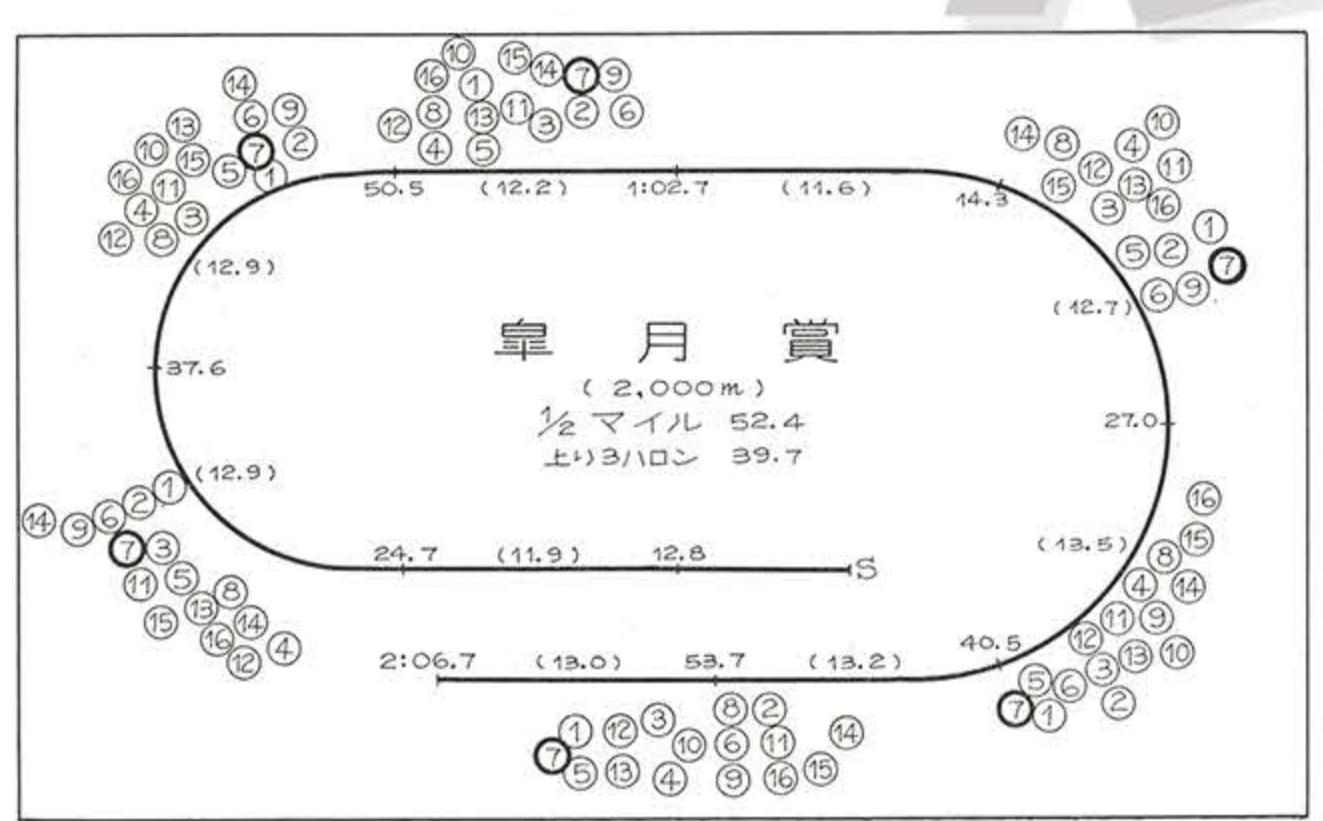
「2—3馬身は損したな」と思い  
ながら、もう口向きの直つたハイセ

4	7	地	ハイセイコー	牡4	57	増沢	末夫	ホースマンクラブ	鈴木	勝	502	2:06.7		552508	653006
1	1	カネイコマ	牡4	57	蛇沢	誠治	金指	吉昭氏	成	宮	486	2:07.1	2½	53358	117018
7	13	ホウシュウ	牡4	57	野平	祐二	上田	清次郎氏	日	迫	458	々	アタマ	484900	612018
6	12	エイト	牡4	57	郷原	洋行	保坂	勇氏	松永	光	466	2:07.3	1½	29456	97458
3	5	イチフジイサミ	牡4	57	中島	吉田	善哉氏	上田	武	438	2:07.6	1¾	39016	122060	
2	3	ベルロイ	ヤル	牡4	57	矢野	照正	鈴木	賢一氏	阿部	470	2:07.9	2	32974	88570
2	4	カミノテ	シオ	牡4	57	加賀	武見	保手	浜正康氏	高橋	448	2:08.0	¾	55178	91278
1	2	スピードリッヂ	牡4	57	岡部	幸雄	伊藤	豊氏	松永	光	468	々	ハナ	55392	99086
6	11	リクダ	ダイニチ	牡4	57	津田	昭	鈴木	陸氏	土田	448	2:08.1	クビ	17328	47492
8	16	キクカ	ギョクリュウ	牡4	57	東	信二	飯島	和吉氏	境	448	2:08.6	3	21976	104372
8	15	ライトロング	牡4	57	南井	克巳	吉岡	静枝氏	工藤	藤	412	2:09.3	4	5918	16050
3	6	ユウシオ	牡4	57	横田	吉光	碓氷	勝三郎氏	菊池	池	470	2:09.5	1½	29722	79734
5	9	⑤ハクサンホマレ	牡4	57	久保	一秋	不破	勝氏	吉永	永	414	2:09.6	½	13332	43822
5	10	ディクタボイ	牡4	57	柴田	政見	今井	重雄氏	布施	藤	458	々	クビ	71258	132968
4	8	ペリシオ	牡4	57	久保	敏文	西田	繁太郎氏	工藤	藤	458	2:10.2	3½	4344	11696
7	14	サキノパンサー	牡4	57	森安	重勝	榎原	富夫氏	山岡	岡	486	2:10.9	4	5742	17790
		(16頭)												1472402	2334418

複式 (1・4) 3092628

(1-1)283341	(1-7)1660508	(2-6) 165870	(3-6) 155805	(4-7)16395184	(6-6) 49807
(1-2)494035	(1-8) 173706	(2-7)1088425	(3-7) 607142	(4-8) 990812	(6-7)734991
(1-3)264686	(2-2) 77713	(2-8) 104560	(3-8) 60815	(5-5) 78960	(6-8) 68825
(1-4)_____	(2-3) 161833	(3-3) 54116	(4-4) 131546	(5-6) 125853	(7-7) 58146
(1-5)348619	(2-4)2030540	(3-4)1130176	(4-5)1643071	(5-7) 1001174	(7-8)500917
(1-6)302150	(2-5) 187460	(3-5) 166921	(4-6)1350026	(5-8) 74538	(8-8) 11380

払戻金単 200円複 110円 280円 120円連額 860円 売得金高  
3,963,309,900円



父チヤイナロツク、母ハイユウ。北海道新冠の武田牧場に生まれたこの四歳馬は、これで無敗の九連勝、総獲得賞金は六千九百二十九万九百円となつた。

さつき賞（ハイセイコー）、ダービー（アサデンコウ）、菊花賞（イシノヒカル）を制した、史上五人目の“三冠騎手”になつた。ハイセイコーとのゴールデンコンビは、ここ当分、天下をわかすだろう。

（4月16日サンケイスポーツ掲載 渡辺孝敏）